

■ 形式

RF-48E

■ 用途

専用回線（アースリターン方式、メタリックリターン）
テレメータ、有線など

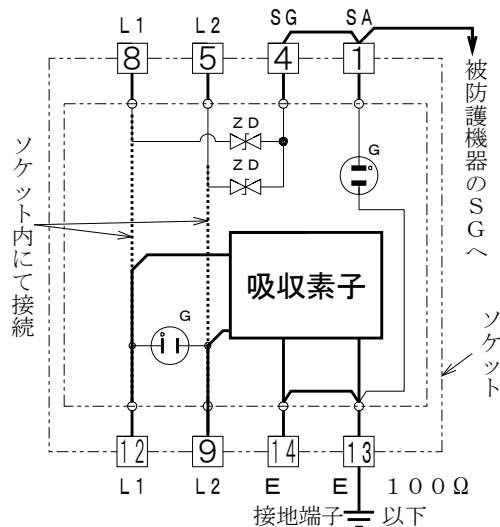
■ 性能

最大連続使用電圧 (Uc)	線間	±DC160V
	線-接地間	±270V以上
漏れ電流	線間	100μA以下 (±160Vにて)
	線-接地間	100μA以下 (±160Vにて)
制限電圧 Up	線間 L-SG	±187V (8/20μs)
サージ電流耐量		10kA (8/20μs)
インパルス耐持久性	カテゴリC2	8/20μs 5kA (10回)
	カテゴリD1	10/350μs 2.5kA (2回)
動作開始電圧	線-接地間	L1-E, L2-E 90-110V
	線-接地間	SA-E 210-390V
	線-接地間	L-E 210-390V
内部ライン抵抗		0.1Ω以下 (往復2線にて)
最大負荷電流 (In)		DC500mA
応答時間		4ns
静電容量 (参考値)	線間	260pF以下
	線-接地間	520pF以下

■ 特長

- ・サージ吸収能力が大きく放電耐量大きい。
- ・応答速度が早い。
- ・DINレールに取り付け可能です。
- ・省スペースでしかも軽量です。

■ ブロックダイアグラム



*アースリターン方式でSGの接地につきましては、詳細は取説をご参照ください。

G : ギャップ式吸収素子 ZD : シリコン式吸収素子
L1, L2 : ライン側端子符号 E : 接地端子 (D種接地)
SG : シグナルグラウンド SA : SG用サージ吸収素子端子

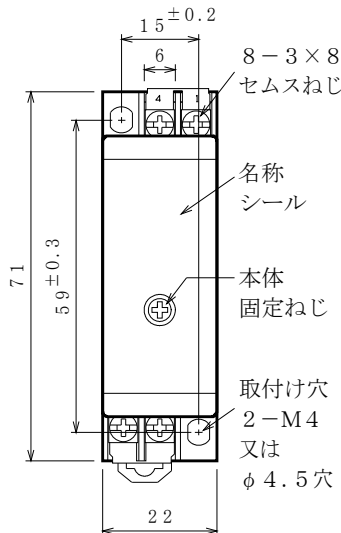
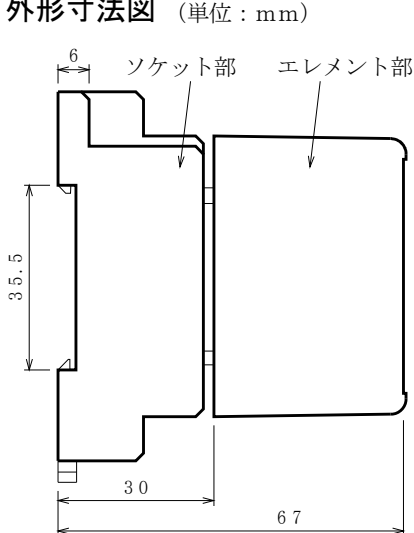
■ 設置仕様

使用温度範囲 : -10~+60℃
使用湿度範囲 : 5~90%RH以下 (結露しないこと)
寸法 : W22×H71×D67
重量 : 約58g
RoHS指令 : 適合
JIS対応 : JIS C 5381-21 カテゴリC2, D1

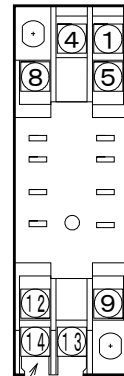
■ ソケット仕様 (標準付属品)

形式 : PYF08A-S
構造 : プラグイン構造
接続方式 : M3ねじ端子接続 (締付トルク 1.2N・m以下)
端子ねじ材質 : 鉄にクロメート
ハウジング材質 : 黒色プラスチック (難燃性)
取付 : 直取付けまたはDINレール取付け (35mm巾)

■ 外形寸法図 (単位 : mm)



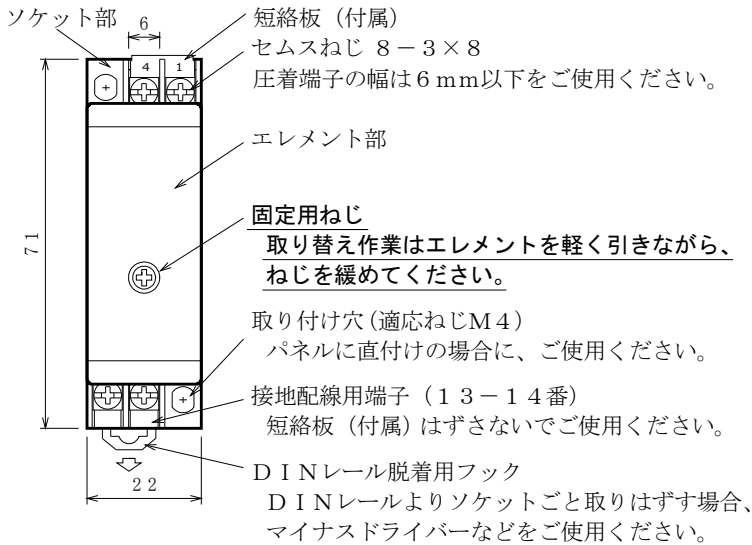
■ 端子配列



端子名称	番号	符号
ライン	8-12	L1
	5-9	L2
サージアブソーバー	1	SA
シールド	4	SH
接地	13-14	E

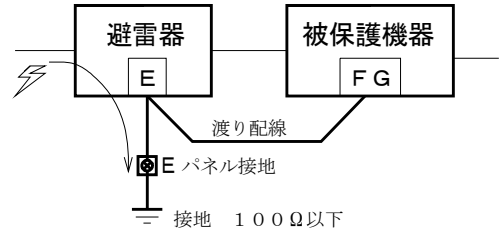
短絡板 (付属)
13-14 短絡用

■ 各部名称 (単位: mm)

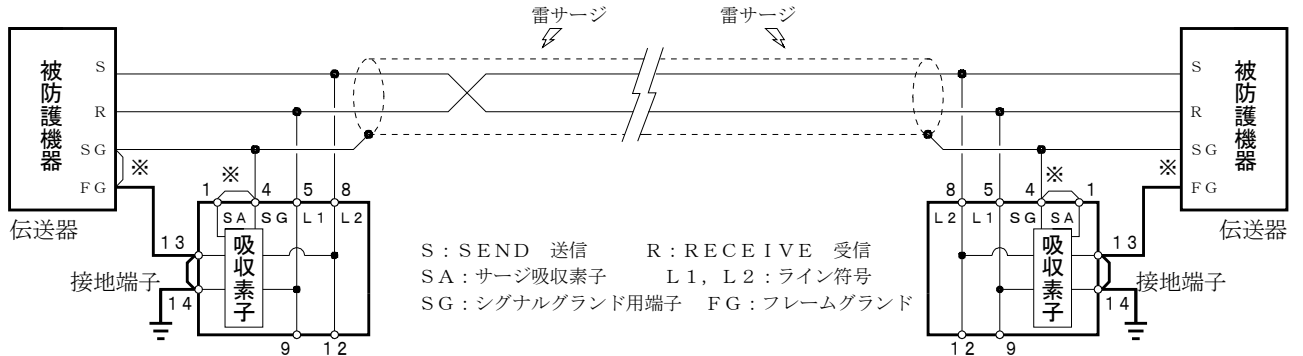


■ 効果的な渡り配線

・保護したい機器のフレームグランド端子FGを避雷器の端子Eに接続してからパネルの接地端子に接続すると被保護機器に誘導雷サージが及ばなくなります。



■ 接続例



※ SGの接地接続は必要に応じておこなってください。
SGを直接接地できない場合 (上図右)、SG-SA短絡板により、
内蔵のサージ吸収素子での空間放電を抑制することができます。
SGを直接接地できる場合 (上図左)、被保護機器のSG-FGを接続してください。

端子⑧-⑤の代わりに
⑫-⑨を使用しても良い

■ 接続方法

- 1) ライン端子は双方にL1, L2端子を設けています。追加工事などの場合などは並列接続が便利ですができるだけサージの侵入側で配線を短くおこなってください。新設の場合、ソケットの端子で中継する要領で配線されることをお勧めします。
- 2) 接地工事はD種接地 (100Ω以下) にて必ずおこなってください。
接地線はできるだけ最短距離で2mm²以上を使用して、避雷針アースや高圧電力アースとの共用は避けてください。

■ 使用上の注意事項

- 1) 取り付け時、形式の確認をおこなってください。ソケットにエレメントの形式を表示しています。
- 2) 絶縁抵抗試験時は、漏れ電流により不良と見誤ることがありますので、エレメント部を外しておこなってください。
- 3) 高周波信号伝送路に使用されるときは、定格表に示す静電容量がありますから、充分ご配慮の上ご使用ください。

■ 定期点検の方法

- ・わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前後年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被保護機器がサージを受けて破損することも考えられます。予備品の在庫をお勧め致します。
- ・避雷器専用の簡易チェッカーCLA-2000 (2000V用) をご使用ください。

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。
ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。